

次の文章を読んであとの設問に答えなさい。

みなさんは「平和」というと、どんなイメージをお持ちでしょうか？平和は、戦争と対極のことを意味すると一般には考えられています。では、戦争がない状態であれば平和なのでしょう？戦争が一時的に停止しても、特定の人にとって不公平な社会、たとえば、ある民族が教育を受ける機会を与えられていない社会が継続していると、その社会では人々が不満を持ち続け、それが将来の紛争を引き起こすことにもなりかねません。ある社会で特定の個人や集団が不利益を被る構造が存在するとき、そのような状態を「構造的暴力が存在する」と表現することがあります。自らの力では容易に変えることができない構造的な不平等は、ある種の「暴力」であるという考え方です。身体的被害を受ける暴力は一時的かもしれませんが、構造的暴力は継続的であるという意味で、より深刻な問題と言えるかもしれません。平和学者のヨハン・ガルトウングという人は、平和を「消極的平和」と「積極的平和」に分類し、私たちは「積極的平和」を目指すべきだと主張しています。ここでの「積極的平和」とは、前述の「構造的暴力」がなくなった状態を示します。教育分野では、すべての人が教育を受ける権利を享受できることを保障することが大事ですし、公正な社会の実現のためには必要な権利や責任といった考え方を学ぶことも大切でしょう。紛争後の教育協力を考えてみると、紛争社会を復元するのではなく、公正な社会、つまり積極的平和を目指すための新しい教育や教育制度の構築が求められます。また、平和な社会を構築するためには、人々の信頼関係や結びつきを回復する、強めることも大事です。大人だけでなく、子どもたちも、家族や友達が危害を加えられるのを目撃しているかもしれません。また、大人から対立民族への否定的なイメージを聞かされているかもしれません。紛争が起きて愛する人たちが傷付けられた時、危害を加えた相手の集団に対する憎しみは強くなり、容易には消えない心の傷として残っていきます。対立しあった集団の間にもどるようにして信頼関係を作っていくかというのは、非常に重い課題です。公正な社会に生きる市民としての権利や責任を教えることはできても、人を愛したり信頼したりすることは簡単に「教育」できるものではないのです。紛争後の教育協力は、対立する集団間（大人も子どもも）の偏見や不信を粘り強く取り除いていく姿勢が求められます。

※作問の都合上、改編・省略した箇所があります。（小松太郎『教育で平和をつくる 国際教育協力のしごと』より）

語注 ・享受（きょうじゆ）…受けおさめて自分のものにする事。

・偏見（へんけん）…かたよった見解。公正でない意見。

## 《設問》

問一 この文章は、「はじめに 紛争・平和・教育協力」の全文です。この文章を参考に後の語群の語句をすべて用いて、きみが考える「教育にできること」と「教育協力の課題」を、一〇〇字程度で述べなさい。（ただし、指定された語句はどのような順序で用いてもかまわないものとする）

・積極的平和 ・偏見や不信 ・権利 ・責任 ・教育 ・信頼関係 ・構造的暴力 ・教育制度

次の文章を読んであとの設問に答えなさい。

【ここまでのお話】  
 ここは、北の動物園。キリンのキリコが死んでしまい、キリン舎は空っぽ。キリンが来るまで待っていてください、という看板が貼られているだけです。キリンが大好きなけんとは、何度もキリン舎を訪れますが、やはり、空っぽのまま。そんな、ある日のことでした。

そのひは、どうぶつえんのえんちようさんが、いました。

「なんどもきてくれて、ありがとう。きみのなまえは？」

「けんとです。あの……キリン、ほんとに、くる？」

「うん、アメリカのどうぶつえんからくることにきまつたよ。にんげんでいえば、けんとくんとおなじくらいのことものキリンがくる。あきには、ここであえるとおもようよ」

「やったー！」

「だけどね……しんばいなことがあるんだ」

えんちようさんがいいました。

「キリンは、ひこうきにつてくるんだよ。どうやってのるとおもう？」

けんとは、いろいろかんがえてみました。

「ひこうきのなかはせまいから、ずつと、おなじかつこうで、ほとんどまるいちにち、じつとしてなきやらない」

「とちゆうでぐあいが変わるくなって、しんでしまうこともあるんだよ」

けんとは、ドキッとしました。

「あたたかいところがすきなキリンが、こんなさむいところにくるんだから、なれるまでたいへんだとおもうんだ。それに、おかあさんとはなればなれになつてしまし

①おかあさんとはなればなれ？

けんとは、おもいました。それなら、ここにいるほかのどうぶつたちも、おかあさんとはなればなれなの？

すると、えんちようさんが、まっすぐにけんとをみていました。

②それでも、わたしはここにキリンをよびたいんだ」

「わたしはどうぶつのせわをしながら、いのちつて、すごいなあ、と、いつもおもうんだよ。いきよとすのちは、ものすごくつよくてかがやいている」

「ぼく、ここにどうぶつ、だいすき。なにをたべるのかなあ、とか、どんなふう、ねるのかなあ、とか、かんがえる。あかちゃんがあまれば、ものすごくかわいくて、うれしくなる！こんどくるキリンも、はやくあかちゃんがあまれるといいなあ」

③えんちようさんが、けんとのあたまをぐりぐりなでました。

そのばん、けんとは、ゆめをみました。

サバンナをゆうゆうとあるくキリンのゆめです。

このごろ、けんとは、ねっしんにキリンのべんきょうをしています。

④じぶんも、いっしょにキリンをそだてたいとおもったからです。

⑤ないしよで、キリンのなまえもかんがえています。

「きたのどうぶつえん」に、キリンがやってくるのももうすぐです。

（志茂田景樹『キリンがくる日』より）

※作問の都合上、省略・改編した箇所があります。

## 《設問》

※すべての問の制限字数には句読点・符号を含むものとする。

問一 この文章から読み取れる「けん」と「えんちようさん」の性格を三十五字以内で簡潔に書きなさい。

問二 線部①「おかあさんとはなればなれ？」とありますが、このとき、けんとは、どのような気持ちを抱いていたと考えられますか。三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問三 線部②「それでも、わたしはここにキリンをよびたいんだ」とありますが、えんちようさんは、どのような気持ちでこう言ったと考えられますか。三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問四 線部③「えんちようさんが、けんとのあたまをぐりぐりなでました」とありますが、えんちようさんは、どのような気持ちで「あたまをなで」たと考えられますか。三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問五 線部④「じぶんも、いっしょにキリンをそだてたいとおもった」とありますが、けんとは、なぜ「キリンをそだてたいとおもった」のですか。その理由を三十字以内で簡潔に説明しなさい。

問六 線部⑤「ないしよで、キリンのなまえもかんがえています」とありますが、けんとは、新しく来るキリンにどのような名前をつけると思えますか。その名前とその名前をつけた理由を三十字以内で簡潔に説明しなさい。